

懐かしの Photograph

盛岡写真今昔物語

普段見慣れた街の姿も、時の流れの中で少しずつ、時には大きく変化してきました。心の奥に残っている、昔の街の姿を懐かしみながら、変化し続ける盛岡の街をご覧ください。



昭和44年の夕顔瀬橋

夕顔瀬橋は、もともと夕顔瀬町と材木町を結ぶ橋。当時の橋は、開運橋と同様のトラス橋と呼ばれる構造の橋でした。

(写真提供：街もりおか)



現在の夕顔瀬橋

アルペンスキー世界選手権雫石大会に合わせ、1993年に現在の橋に架け替えられました。その際、材木町方面から太田橋方面へ直接つながるように、以前より斜めに橋が架けられました。